

C F C 教科別シラバス

教科名：カラーコーディネート論Ⅰ ファッション産業学科 1 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

色彩に関する基礎知識を AFT 色彩検定 3 級対策テキストに沿って講義する。

色彩調和の学習では基本的な配色テクニックを学んだ後、カラーカードを使用し実際に配色実習を行なう。

2 級・1 級を学ぶ時ときの重要な基礎となるので、しっかり覚えてもらうためにスモールテストを随時行なう。

評価基準

出席日数、授業態度、演習課題、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『文部科学省後援 色彩検定 対策テキスト 3 級編』全国服飾教育者連合会（A・F・T）

参考文献

『分かる色彩検定 3 級』新星出版

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・色の三属性と色立体
- ・PCCS
- ・カラーチャート実習（PCCS 色相環・トーン表）
- ・マンセル
- ・色名…系統色名、慣用色名
- ・光と色
- ・眼のしくみ
- ・照明
- ・混色
- ・色彩心理（心理的効果、対比、同化）
- ・色彩調和…カラーカードを使用して配色実習

- ・配色イメージ

- ・UC 級インフォメーション

C F C 教科別シラバス

教科名：カラーコーディネート論Ⅱ ファッション産業学科 2 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

3 級で学んだ基本知識を踏まえ、新たなカラーの知識を AFT 色彩検定 3 級対策テキストに沿って講義する。

新しい表色系の授業では、3 級で学んだ内容との違いを復習を兼ねながら進めていく。

色彩調和の学習では、カラーカードで実際に配色を作ることで理解を深める。

評価基準

出席日数、授業態度、演習課題、定期試験の結果を総合的に評価する。

使用テキスト

『文部科学省後援 色彩検定 対策テキスト 2 級編』全国服飾教育者連合会（A・F・T）

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・生活と色 誘目性 視認性
 - ・色の表示 マンセルシステム
 - ・光と色 分光分布、視覚系、照明
 - ・プロダクトデザインと色彩
 - ・色彩調和・・・カラーカードを使用して配色実習
 - ・配色イメージ ファッション、
 - ・インテリアデザインと色彩
 - ・エクステリア環境
 - ・ヴィジュアルデザインと色彩
 - ・プロダクトデザインと色彩
 - ・色名について
 - *検定向けテストの実施
 - ・パーソナルカラー
 - 診断法、応用テクニック、ファッションコーディネート、メイク
- 学年末単位認定試験

C F C 教科別シラバス

教科名：ショップマスター論 ファッション産業学科 2 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

グループにより、オリジナルブランドを立案し、実際に商品MD、商品製作、販促、販売まで体験し、係数管理等、結果をまとめて反省し、分析を行う。

評価基準

出席率、授業態度、グループでの活動等、総合的の評価する。

使用テキスト

C F C 独自のフォーマット

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・情報収集し、ブランドグループ分け
- ・イメージターゲット設定
- ・シーズンイメージ設定
- ・売上目標と商品構成
- ・基本的係数管理
- ・商品企画書作成
- ・商品製作
- ・店頭販売、イベント出展、SNS を使用しての販売
- ・販売促進活動等

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習

ファッション産業学科 1 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Illustrator・Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Illustrator C C ・Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期 (PhotoShop) ——

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

PhotoShop を使用してヴィジュアルマップを制作する。

——後期 (Illustrator) ——

1. パス
2. 線
3. 着色設定
4. テキスト入力

ハンガーイラストを制作する。

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習

ファッション産業学科 2 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

コンピュータグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Illustrator・Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Illustrator C C ・Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期 (PhotoShop) ——

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

PhotoShop を使用してアパレル企業用のヴィジュアルマップを制作する。

——後期 (Illustrator) ——

1. パス
2. 線
3. 着色設定
4. テキスト入力

アパレル企業用のハンガーイラストを制作する。

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習

ファッション産業学科 3 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Illustrator・Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Illustrator C C ・Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期 (PhotoShop) ——

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

PhotoShop を使用してアパレル企業用の応用ヴィジュアルマップを制作する。

——後期 (Illustrator) ——

1. パス
2. 線
3. 着色設定
4. テキスト入力

アパレル企業用の応用ハンガーイラストを制作する。

C F C教科別シラバス

教科名：パターンメイキングⅡ	ファッション産業学科2年	105 時間/週 3 時間				
<u>授業の解説</u> （担当はアパレル企業での実務経験者） ・人体の構造や動作に適合するパターンの展開方法を理論的に順序良く学習し、その上で、デザインと調和する感性豊かなパターン表現を身につけていく。 ・2年次の授業内容 ①新文化原型を用いたパターンメイキング…「実用編」 ジャケットのパターンメイキング…6～7 デザイン ②パンツのパターンメイキング…その 1 パンツ原型の作図とその応用 ③各種見頃続き袖のパターンメイキング ④デザインディテールのバリエーション						
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、課題提出物（デザイン、素材選びなども含む）により総合的に評価する。						
<u>使用テキスト</u> すべてオリジナルテキスト（プリント）						
<u>参考文献</u> <table><tr><td>『スカート・パンツ』</td><td rowspan="3">} 文化ファッション大系 文化服装学院編</td></tr><tr><td>『コート・ケープ』</td></tr><tr><td>『スーツ・ベスト』</td></tr></table>			『スカート・パンツ』	} 文化ファッション大系 文化服装学院編	『コート・ケープ』	『スーツ・ベスト』
『スカート・パンツ』	} 文化ファッション大系 文化服装学院編					
『コート・ケープ』						
『スーツ・ベスト』						
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・パンツのパターンメイキング ①パンツ原型の作図 ②テーパードレッグシルエットのパターンメイキング ③シェープレッグシルエットのパターンメイキング ④デザインパンツ（例：ベルボトムパンツ）のパターンメイキング ・ジャケットのパターンメイキング ①4面構成ジャケット：プリンセスラインシルエット ②パネルラインジャケット ③補助ダーツのあるパネルラインジャケット ④ディテール表現 前身頃ショルダーダーツの展開方法 ジャケット用ポケット各種 など。 ⑤3面構成テーラードジャケット ⑥ ⑤の応用：メンズライクなカッティングのジャケット ⑦ダブルブレスジャケット ⑧ディテールの表現 衿、袖、フロントカットのバリエーション など。 ・身頃続き袖 各種 ①フレンチスリーブ ②きものスリーブ ③脇パネルまち ④ケープ&フード ⑥ラグランスリーブ（文化教本コート・ケープより） ・デザイン袖のいろいろ：袖山に変化のある袖…レッグオブマトンスリーブ など ・トレンド性を考慮し、《今のシルエット》を見る力を養う。 ①ワンピース A ②ワンピース B ③スカート A ④スカート B						

C F C 教科別シラバス

教科名：パターンメイキングⅠ ファッション産業学科 1 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

パターンメイキングの基礎知識を学ぶ。

ファーストパターンと工業用パターンの違いを理解させ工業用パターン作製の手順を
で理解させる。(1/2 縮尺)

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『パターンメイキング技術検定試験 3 級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

『服飾造形の基礎』

文化ファッション大系

文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・パターンメイキングとは
- ・スカート原型の作図
- ・身頃原型の作図
- ・袖の作図
- ・ダーツの移動、分散
- ・衿の各種デザインの作図
- ・スカート原型からの展開 セミタイト・Aライン・ゴアード・フレアー等
- ・ワンピースの作図
- ・ブラウスの作図（シャツカラー）

——後期——

- ・パンツの作図
- ・ブラウスの作図（オープンカラー）
- ・ジャケットの作図（テーラードカラー・二枚袖）
- ・袖の展開

C F C 教科別シラバス

教科名：パターンメイキングⅢ ファッション産業学科 3 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・学年の前半は新文化式原型を使用したパターンメイキングの「応用編」を実施。
- ・後半は文化原型から離れ、業界で多用されている「有り型を利用したパターンメイキング」を取り入れる。
- ・2 年次の授業内容
 - ①PM 技術検定課題（ジャケット 2 型）おパターンメイキング（授業構成比 約 10%）
 - ②新文化原型を用いたパターンメイキング…「応用編」
コートのパターンメイキング…3 デザイン（授業構成比 約 20%）
 - ③パンツのパターンメイキング…その 2（授業構成比 約 10%）
 - ④有り型利用のパターンメイキング（授業構成比 約 50%）
 - ⑤デザインディテールのバリエーション（授業構成比 約 10%）

評価基準

出席率、授業態度、提出課題、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

- ・すべてオリジナルテキスト（プリント）
- ・参考文献『スカート・パンツ』
『コート・ケープ』 文化ファッション大系 文化服装学院編
『スーツ・ベスト』

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

パターンメイキング技術検定試験課題

- ①ジャケット A ②ジャケット B

コートのパターンメイキング

- ①文化原型から「ジャケット原型」、ジャケット原型から「コート原型」の作成。
- ②「コート原型」からストレートシルエットコートのパターンメイキング
- ③A ラインシルエットラグランコート
- ④ボックスシルエット P コート

パンツのデザイン表現

- ①内タック ②外タック ③インバーテッドタック ④ドレープパンツ
- ⑤ジーンズ風パンツなど。

——後期——

「有り型」からのパターンメイキング

- ①ハイネックカラーラグランジャケット
- ②ブルゾーンⅠ…スタジアムジャケット
- ③ブルゾーンⅡ…パイロットジャケット
- ④タイト原型から「パターン合成」の演習
 - *プリンセスライン原型の作成 *シース原型の作成
 - *ハイウエストまたはオーバーオール
 - *ドレスプリンセスライン原型をジャケットに変換
 - *ジャケットのパターンメイキング…パネルラインジャケット
 - *補助ダーツ入りパネルラインジャケット

- ⑤ドレープドレスⅠ ⑥ドレープドレスⅡ ⑦ドレープドレスⅢ

デザインディテール表現

- ①ショールカラー各種
- ②ドレーピング途中での袖の作図法
- ③X ブラウスなど、ひねり、ねじりのテクニック
- ④QP/M など。

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画Ⅰ ファッション産業学科1年 70時間/週2時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションを生み出すとき、その表現法として必要なデザイン画、基本的なプロポーションのとり方、顔の表現、ポーズのつけ方から学ぶ。ハンガーイラスト、アイテム、ディテール名称も交え、着装・着色が出来ることを目標とする。

評価基準

出席率、授業態度、テーマ毎に提出する作品の完成度により総合的に評価する。

使用テキスト

「ファッションデザイン画」 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・プロポーションのとり方
- ・ポーズのとり方
- ・顔の描き方＜提出課題 ①＞
- ・ハンガーイラスト（アイテム図）の描き方
- ・着装の方法
- ・絵具着色技法・ペン入れ＜提出課題 ②～④＞
- ・夏休み宿題＜提出課題 ⑤＞
- ・写真を使った練習（写真デッサン）＜提出課題 ⑥＞
- ・素材感の表現法＜提出課題 ⑦～⑨＞
- ・メンズの描き方
- ・学年末単位認定試験

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画Ⅱ ファッション産業学科 2 年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・オリジナリティーのある発想，表現方法ができるようサンプルなどを見せて解説する。
- ・バランス，色など写真スケッチなどで見る力を養う。

評価基準

課題がオリジナリティーのある発想，表現方法であるか、市場を意識したデザインであるか総合的に判断する。

使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

<コンテスト対策>

- ・デザイン出しの方法
- ・表現方法の研究

<基礎>

- ・ポーズのとり方
- ・ハンガーイラスト
- ・ディティール，素材表現

——後期——

<コンテスト対策>

- ・より多くのデザイン出しとデザインのまとめ方
- ・効果的な表現方法（くずし絵）

<基礎>

- ・市場を意識したデザイン出しからの着色作品
- ・ディティール，素材表現

※基礎 TOTAL ファイルNo.1～19

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画Ⅲ ファッション産業学科 3 年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・アパレルにおける服飾デザイン画に必要な速く、正確に、美しく流行を取り入れたデザイン画の描き方。
- ・時代を先取りするオリジナルデザインの描き方の養成。
- ・商品企画に直結するテーマに合わせたデザイン画の描き方。

評価基準

- ・目的に合ったデザイン画が、正確に美しく、決められた時間内で仕上げられるかどうか。
 - ・オリジナルデザイン画を自分の画風でうまく表現されているかどうか。
 - ・出席率、授業態度
- 以上を総合的に判断する。

使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編
その他関連するプリント配布

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・就職対策（デザイン画速描き…時間、テーマ設定）
- ・外部コンテスト対策（創作デザイン…いろいろな角度からテーマを設定）

——後期——

- ・外部コンテスト対策（創作デザイン）
- ・テーマによるデザイン画（メンズ、チルドレン、レディス等のコーディネートデザイン画）
- ・CFC ファッション画コンクール

課題 No.1～ No.24

創作課題 ①～⑭

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションビジネス論Ⅰ ファッション産業学科1年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

素材・合繊メーカーなどの川上といわれる産業から、服を企画・生産・販売する川中と称されるアパレル産業、そして百貨店・専門店・量販店・小売店などの流通分野の川下まで、高度で広範囲な分野・領域の理解、またその能力を社会や、企業で活用・活躍することを目標とする。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

ファッションビジネス

- ・ 60～90年代ファッションビジネスの変遷
- ・ 90年代ファッションビジネス
- ・ ファッションビジネスの定義・特性
- ・ ファッションビジネスの構成メンバー

ファッション産業構造

- ・ 繊維ファッション産業の構造
- ・ アパレル企業の業態
- ・ アパレル小売業の業態

ファッションマーチャンダイジング

- ・ マーチャンダイジングの基礎知識
- ・ ファッション資料の知識
- ・ 売場商品構成の基礎

——後期——

ファッション流通

- ・ 流通
- ・ ファッション小売業の業務

ファッション販売

- ・ コミュニケーションの基本
- ・ 販売の基本マナー
- ・ 接客技術
- ・ 顧客づくり・ファンづくり

キャリアプラン

- ・ 自己啓発
- ・ ファッションアドバイザー（FA）

ビジネス基礎知識

- ・ 社会常識Ⅰ
- ・ 企業と組織Ⅰ
- ・ ビジネス文書
- ・ 計数知識Ⅰ

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションビジネス論Ⅱ ファッション産業学科 2 年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションの商品企画、生産から流通にわたるビジネスの世界で活躍する際に必要なファッション専門知識を理解する。
現在の、ファッションビジネス界の動向。

評価基準

『ファッションビジネス能力検定試験』2 級の合格が基本。
出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションビジネス能力検定試験 2 級ガイドブック』
財団法人日本ファッション教育振興協会
『WWD ジャパン』
『織研新聞』

カリキュラム・スケジュールの概略

- ファッションビジネス知識—
1. ファッションビジネスの特性
 2. ファッション生活・ファッション消費
 3. ファッション産業構造
 4. ファッションマーケティング
 5. ファッションマーチャンダイジング
 6. アパレル生産と物流
 7. ファッション流通
 8. 販売管理とプロモーション
 9. キャリアプラン
 10. ビジネス基礎知識

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションビジネス論Ⅲ ファッション産業学科 3 年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッション業界の現状と変化を的確にとらえ、今後の業界の変化に対応するための知識を習得させる。

評価基準

出席率・授業態度・定期試験により総合的に評価する。

参考文献

『ファッション販売』(株)商業界

『織研新聞』

『ファッション週刊誌 WWD ジャパン』

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・小売業の機能と種類
- ・アパレルの機能と種類
- ・現在の業界の状況

ファッション業界のアウトライン

ブランド・商業施設のポジショニング

インバウンドについて

商社について

- ・業界用語

——後期——

- ・現在の業界の現状

世界のアパレル

C S R（企業の社会的責任）について

E C マーケットについて

サステイナブルについて

- ・F B のパラダイムシフト
- ・品質管理について
- ・P L 法について

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションマーケティング論 ファッション産業学科 1 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションマーケティングの基本を講義と演習により習得。
オリジナル商品を企画立案し、企画書作成から、商品製作、プレゼンテーションまでの一貫した流れの中で習得、理解する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションマーケティング』ファッション教育社
『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』
財団法人日本ファッション教育振興協会

参考文献 ファッションニュース・ファッション雑誌

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ファッションマーケティングの定義
- ・ファッション業界の職種説明
- ・ワードローブプラン
- ・消費者行動
- ・ファッション生活空間
- ・ファッションとライフスタイル
- ・トレンド感性
- ・ライフスタイル変化
- ・A/Wトレンド分析

——後期——

- ・マーケティングの基礎知識
- ・市場調査の基礎知識
- ・百貨店市場調査
- ・ターゲットイメージ企画
- ・ターゲット分析
- ・ブランドイメージ企画
- ・シーズンイメージ企画
- ・アイテム企画
- ・プレゼンテーション

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションマーケティング論 ファッション産業学科3年 105 時間/週 3 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） ファッションマーケティングを踏まえ、マーケットリサーチ・雑誌分析を行い、オリジナルブランドの立ち上げのための知識技術を習得し、プレゼンテーション能力を身に付ける。
<u>評価基準</u> 出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『ファッションニュース』(株)インファスパブリケーションズ <u>参考文献</u> 『アパレルマーチャンダイジング』ファッション教育社 『ファッションマーケティング』 〃
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・マーチャンダイジングの仕事内容について プロセスの説明・情報の分類と収集 ・商品ブランドイメージマップ ・ターゲット企画 ・ターゲット分析 ・ブランドタグ・ショッピングバック企画 ・A/Wトレンド分析 ・S/Sトレンドテーマ 〔 商品・素材 アイテム展開企画 DM・ネーム・バッグ コーディネートプラン プレゼンテーション ・A/Wトレンドテーマ 〔 商品・素材 アイテム展開企画 コーディネートプラン プレゼンテーション ・S/Sトレンド分析

C F C 教科別シラバス

教科名：マーチャンダイジング ファッション産業学科 2 年 70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションマーケティングを踏まえ、マーケットリサーチ・雑誌分析を行い、オリジナルブランドの立ち上げのための知識技術を習得し、プレゼンテーション能力を身に付ける。

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションニュース』(株)インファスパブリケーションズ

参考文献

『アパレルマーチャンダイジング』ファッション教育社

『ファッションマーケティング』 〃

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・ マーチャンダイジングの仕事内容について プロセスの説明・情報の分類と収集
- ・ 商品ブランドイメージマップ
- ・ ターゲット企画
- ・ ターゲット分析
- ・ ブランドタグ・ショッピングバック企画
- ・ A/Wトレンド分析
- ・ S/Sトレンドテーマ
- 商品・素材
 - アイテム展開企画
 - DM・ネーム・バッグ
 - コーディネートプラン
 - プレゼンテーション
- ・ A/Wトレンドテーマ
- 商品・素材
 - アイテム展開企画
 - コーディネートプラン
 - プレゼンテーション
- ・ S/Sトレンド分析

C F C 教科別シラバス

教科名：マーチャンダイジング ファッション産業学科 3 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

現在の市場をリードする消費者の世代に焦点を当て、その年代を調査、マーケットリサーチをした上で、オリジナル商品を企画立案し、MD 計数の提案を企画書からプレゼンテーションするまでの一貫した流れの中で習得・理解させる。

- ・今年度はアラフォー世代

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

『アパレルマーチャンダイジング』ファッション教育社
『ファッションニュース』(株)インファスパブリケーションズ

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・対象世代の分析
- ・対象世代の SHOPP マーケットリサーチ
- ・ブランドイメージ企画
- ・ターゲットイメージ企画
- ・年間売上を想定して計数企画
- ・シーズン企画
- ・アイテム展開企画
- ・プレゼンテーション

C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義Ⅰ ファッション産業学科 1 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

被服作製の為の基礎知識、製作技術を理論的に学ぶ。

既製服の商品知識・生産流通過程を学び効率的かつ正確なものの作りの知識を得る。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『服飾造形の基礎』
『スカート・パンツ』
『ブラウス・ワンピース』
『ジャケット・ベスト』
『帽子』『刺繍』

文化ファッション大系 文化服装学院編

『接着芯の本』文化出版局

『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

服飾造形概説

衣服製作の為の用具

人体計測

基礎縫い

衣服製作の為の基礎知識

スカート原型の仮縫い・補正

身頃原型の仮縫い・補正

スカート・ブラウス製作手順（R T W）

素材・シルエット・ディテール

商品知識・サイズの知識

ワンピース製作手順（R T W）

——後期——

パンツ製作手順（R T W）

ベルト通し・ベルト付け・本股明き

刺繍

テーラードジャケット（裏無し）製作手順（R T W）

パッチポケット

二枚袖・明きみせ

肩パッドの付け方

ジャケットにおけるアイロン工程

帽子

アパレルメーカー商品生産知識

工場生産・流通知識

スカート（裏つき）

C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義Ⅱ

ファッション産業学科 2 年

35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

洋服の構造を理解し、専門的な知識と技術を習得し、それぞれの基本的な服種（アイテム）の「服作り」を通して服飾全般の知識と応用を学び、製作工程を把握する。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『スカート・パンツ』

『コート・ケープ』

『スーツ・ベスト』

『特殊素材』

文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

・ラグラン仕様について

商品知識、仕立てによる名称、比翼仕立て、略比翼仕立て、ふらせ仕立て、半裏仕立て、背ぬき仕立て

・柄合せについて

柄の知識、大柄、花柄、ストライプ、ボーダー、格子の柄合せ

・ジャケットについて

総裏仕立て、2 枚袖、ポケット

・パンツについて

総裏仕立て、持ち出し付きファスナーあき、シームポケット

・フォーマルについて

商品知識

・シャーリング、プリーツ、スリットについて

・子供服

体型

・ファーについて

・ジャージ素材について

C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義Ⅲ ファッション産業学科 3 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・ 特殊素材の知識と扱い方について講義する。
- ・ 縫製テクニックをデモンストレーションし、高度なテクニックを理解させる。
- ・ 理解度を測るため部分縫いを製作してもらう。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 }

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

ブリーツスカート（ファスナー明き、ブリーツ計算法）

薄物（シフォンジョーゼットとオーガンジーの縫い代始末の種類）

伸縮素材

トリミング

レース（ケミカルレースの扱い方）

——後期——

ベルベット（起毛素材の扱い方）

皮革

毛皮

リバーシブル

くせとり

C F C 教科別シラバス

教科名：構成実習Ⅰ ファッション産業学科 1 年 420 時間/週 12 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 被服製作の為の基礎知識、製作技術を学ぶ。 （実寸パターン・縫製）
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『服飾造形の基礎』 『スカート・パンツ』 『ブラウス・ワンピース』 『ジャケット・ベスト』 『接着芯の本』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編 文化出版局
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ——前期—— ・ 定規袋（パターン・縫製） ・ ギャザースカート（パターン・縫製）・デザインスカート（経験者クラスのみ） ・ 身頃原型補正（パターン・仮縫い） ・ 基礎縫い ・ 部分縫い（カギ明き・コの字明き・縫い目明き・シャーリング・折伏せ縫い・袋縫い etc） ・ 規定ワンピース（パターン・縫製） ・ 長袖規定ブラウス（パターン・縫製） ・ デザインブラウス（パターン・縫製）（経験者クラスのみ） ——後期—— ・ パンツ（ベルト通し、ポケットベルト付け、本股明き）（パターン・縫製） ・ 部分縫い（シャーリング、etc） ・ テーラードジャケット（裏無し・肩パッド有・二枚袖・袖口明き見せ・肩パットのくるみ） （パターン・縫製） ・ 帽子 ・ C F C ファッションコンテスト作品（パターン・縫製） ・ 部分縫い（釦ホール・テープを使った始末） ・ スカート（裏付き、後ろファスナーベンツ明き（パターン・縫製）） ・ 修了作品（パターン・縫製）

C F C 教科別シラバス

教科名：構成実習Ⅱ	ファッション産業学科 2 年	280 時間/週 8 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） リサーチを通じて集めた情報を整理・分析し、テーマに基づきデザインした作品を原型から作図・シルエット点検・縫製し、ファイリングして提出する。 情報分析にはマーチャンダイジング担当教員、講義内容は講義担当教員に一任する。 また、パターンを作図すると同時に、C A D にて同じ作図を書く。 現在のアパレルのスピードと完成度により近づける基礎知識を増やす。		
<u>評価基準</u> 出席率・課題提出率・プレゼンテーション・授業態度を加味し、課題提出物の出来具合を 50 パーセントの評価内容として総合的に評価する。		
<u>使用テキスト</u> 『スカート・パンツ』 『コート・ケープ』 『スーツ・ベスト』 『特殊素材』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編		
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ——前期—— ・ジャケット ・ワンピース（ブラックドレス） ・ジャージー素材の作品 ——後期—— ・パンツ ・パニエ（1/2） ・子供服 いずれも原型より作図 → トワルチェック → 工業用パターン作図 → 縫製 → ファイルイングの流れで製作させる ・ C F C ファッションコンテスト作品 ・卒業作品 いずれも原型より作図 → トワルチェック → 工業用パターン作図 → 縫製 → ファイルイングの流れで製作させる ＊ 前期・後期で 1 型ずつ C A D にてパターンを作図し、アパレルの流れを確認する。		

C F C 教科別シラバス

教科名：構成実習Ⅲ ファッション産業学科 3 年 210 時間/週 6 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 各アイテムに合わせ、デザイン→素材選び→パターンメイキング→カッティング→縫製のより高度な知識と技術の習得を計る。 実習物を通して、より美しいシルエットでバランスのいい美的構成力を磨かせる。
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、課題提出物の完成度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『スーツ・ベスト』 『スカート・パンツ』 『コート・ケープ』 『ブラウス・ワンピース』 『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ——前期—— ・デザインジャケット - 一重仕立て…デザイン、素材などに合わせてプライスを考慮しての縫製 ・オリジナル作品 - 様々な素材に合わせたパターンから作品へ落とし込む ・ニット作品 - ニット独特の持ち味を生かした縫製を習得 ・MD作品 - MDの授業で作成した企画書の中から1点) ——後期—— ・卒業研究作品 ・C F C ファッションコンテスト作品

C F C 教科別シラバス

教科名：職業指導Ⅲ ファッション産業学科 3 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

就職活動の本番を迎え、タイムリーで具体的な指導とアドバイスが基本。
集団指導と個人指導を並行して進めることで、全体の流れを確認しつつ、自分の個性に
マッチングする企業の選択と受験、内定をスムーズに行う。

使用テキスト

『専門学校生のための就職内定教科書』日本能率協会マネジメントセンター

各種就職試験問題集

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 就職活動のスケジュール、進め方
2. インターネットの活用法（企業情報の収集、エントリーの方法）
3. エントリーシート、履歴書の書き方
4. 会社説明会、会社訪問について
5. 面接試験対策
6. 一般常識試験対策
7. 企業別専門（実技）試験対策
8. 内定から入社まで
9. 継続的な求人紹介と個別相談

C F C 教科別シラバス

教科名：西洋服装史Ⅰ ファッション産業学科1年 35時間/週 1時間

授業の解説

人類が衣服をまとうようになった古代メソポタミアから19世紀末までの時代的背景とファッションとの関連について学ぶ、プロジェクターやビデオ等を使用しながら各時代のファッションを理解する。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により評価する。

使用テキスト

『ファッションビジネス能力検定試験3級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

『服飾造形の基礎』 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・西洋服装史を学ぶ意義
- ・古代メソポタミア：シュメールのカウナケス、ペルシャのチュニック、ズボンについて説明
- ・古代エジプト：ロインクロス、パーニュ、チュニック、カラシリスなどについて説明
- ・古代ギリシア：ドーリア式・イオニア式キトン、ヒマティオンなどについて説明
- ・古代ローマ：ストラとパルラ、トゥニカとトーガ、時代の盛衰と衣服の分量との関係について説明
- ・ビザンティン：ダルマティカ、パルダメントウムなどについて説明
- ・ロマネスク：シェーンズ、ブリオー、マントルなどについて説明
- ・ゴシック：コットとシュールコ、プールポワンとショースとプーレーヌ、ウブランド
コタルディとシュールコトゥベール、エナン帽とローブなどについて説明
- ・ルネサンス：イタリアモード、スペインモード、フランスモード、イギリスモードなどについて説明
史上初めての腰枠ヴェルチュガダン登場
- ・バロック：オランダモード、ルイ14世時代のフランス宮廷モードなどについて説明
- ・ロココ：ルイ15世、ルイ16世時代のフランス宮廷モードなどについて説明
史上2番目の腰枠パニエ登場
- ・執政政府：アंकローイヤブル・メルヴェイユーズといった風変わりなファッションをした男女の服装などについて説明
- ・第一帝政：ナポレオン一世の時代、ジョセフィーヌを中心に華麗な宮廷モード(ローブ・ド・クール、エンパイア・ドレスなど)について説明
- ・王政復古：ルイ18世の時代、女子服のウエストはコルセットで再び細くなる。男子服はダンディズムを確立したジョージ・ブライアン・ブリュンメルのダンディについて説明
- ・第二帝政：ナポレオン3世の皇妃ウージェニーのファッションに携わったオートクチュールの創始者シャルル・フレドリック・ウォルトについて説明
史上3番目の腰枠クリノリン登場
今日の背広服の原型が築かれた
- ・世紀末：史上4番目の腰枠バッスル登場 日本において鹿鳴館スタイルともいわれる子供らしい子供服が誕生

C F C 教科別シラバス

教科名：西洋服装史Ⅱ ファッション産業学科2年 35 時間/週 1 時間
<u>授業の解説</u> 20 世紀ファッションを時代的背景やその時代に活躍したデザイナーの功績を考察しながらプロジェクトやDVD、ヴィンテージ作品等を使用しながら、近代モード史を講義する。
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『20 世紀ファッション』文化ファッション大系 文化服装学院編 『ファッションビジネスⅡ』財団法人日本ファッション教育振興協会
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・モード史を学ぶ意義 ・1900年代 ーアール・ヌーボースタイルー ポール・ポワレを中心として ・ベルエポック時代 ー1910年代ー 美しき良き時代 ・20年代 ーギャルソンヌ・スタイルー 女性デザイナー3人（シャネル・ヴィオネ・スキャパレリ）を中心として ・30年代 ースリム&ロングスタイルー ・40年代 ーミリタリースタイルー ニュールックを発表したクリスチャン・ディオール／イヴ・サンローランを中心として ・50年代 ーオートクチュール黄金期ー クリストバル・バレンシアガ／ユーヴェルト・ジバンシーを中心として ・60年代 ーミニスカートとプレタポルテーー マリー・クワント／アンドレ・クレージュ／ピエール・カルダンを中心として ・70年代 ーフォークロア&ヒッピーファッションー 日本人デザイナー高田賢三・三宅一生を中心として ・80年代 ーボディコンシャスとD. C. ブランドー ティリー・ミュグレ／クロード・モンタナ／アズディン・アライア、川久保玲・山本耀司等を中心として ・90年代 ーストリートファッションー

C F C 教科別シラバス

教科名：素材論Ⅰ ファッション産業学科 1 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ガーメントを構成する大きな要素の 1 つである素材。ファッション業界を志す学生たちに欠かすことの出来ない素材の基本的な知識の習得を目指す。

ファッション学科の授業では、商品の製造視点に立って講義を進めます。
ファッション流通学科の授業では、消費者の視点に立って講義を進めます。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『知りたかった繊維の話』 株式会社東レ経営研究所
『テキスタイルハンドブック』 文化学園文化事業局

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 繊維原料について
 - ・天然繊維
 - ・化学繊維
2. 糸について
 - ・糸の長短
 - ・糸の太さ、撚り
 - ・紡績糸、加工糸
3. 織物について
 - ・織物の構造
 - ・三原組織
4. 産地研修（尾州産地を予定）

C F C 教科別シラバス

教科名：素材論Ⅱ

ファッション産業学科 2 年

70 時間/週 2 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

1 年生に引き続き基礎編のまとめを行う。

但し、2 年生では理論と実践の同時進行が最大のテーマ。

素材学としての理論的基礎を徹底しつつ、常に多数の素材に触れることで、衣服と素材との関係を確認。

更に、最新の素材、業界でおこっている新しい素材分野の定義（ルール）を紹介することで、即戦力としての素材学を身につける。

評価基準

出席率、授業態度、定期テストにより総合的に評価する。

使用テキスト

『知りたかった繊維の話』 株式会社東レ経営研究所

『テキスタイルハンドブック』 文化学園文化事業局

その他プリント、多数の素材サンプル、ハンガー、製品サンプルを使用

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 織物について

綿、毛、絹の素材名

2. ニットについて

成形商品とカットソー

編み地について

ジャージーの素材名

3. その他の素材（レース、不織布等）

4. 素材の染色について

5. 素材の仕上げ加工 について

6. 素材の産地と流通について

7. 素材のトレンドについて

8. 産地研修（北陸産地を予定）

C F C 教科別シラバス

教科名：素材論Ⅲ

ファッション産業学科 3 年

35 時間/週 1 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ガーメントにおける素材の差別化が重要になりつつある現在、2 年間の基礎編の上に立って現場に活かせる応用編を半年間行う。

講義授業で可能な方法で、現在の学生の弱点である素材とシルエット、デザインとの関係を大きな習得課題とする。

また、トレンドと素材との関係、業界の現状と素材の手配について、内定先や内定職種との関係で理解し、卒業前や卒業後に情報収集を行い素材を含めた広い視野で判断ができる能力を身につけさせる。

評価基準

定期テスト、出席率、授業態度、により総合的に評価する。

使用テキスト

『テキスタイルハンドブック』 文化学園文化事業局

織研新聞、WWD 他業界関連発行物

世界イベント（PV・MU）や世界トレンド情報会社の HP を PC で紹介

その他プリント、多数の素材サンプル、ハンガー、製品サンプルを使用

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 2 年間の復習
2. 2017 A/W の素材トレンドとデザインの関係
3. 素材産地と物づくりの関係、産地の現状
4. 海外生産の現状
5. ファッショントレンドと素材トレンドと店頭の関係（2018 A/W ・ 2019 S/S）
6. 新素材の紹介

C F C 教科別シラバス

教科名：創作デザイン画Ⅰ ファッション産業学科1年 70時間/週 2時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションデザインの発想と表現方法などに関する知識と技術を習得させ
ファッションを想像的にデザインする能力を身に付ける。

評価基準

出席率、授業態度、提出課題により総合的に評価する。

使用テキスト

参考文献：FASHION DESIGN BASICS
FASHION DESIGN RESOURCE

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・デザイン発想 1（平面：線の視覚効果）
線の視覚的効果を学習した上で直線や曲線を使ってデザイン発想をし、
イメージを具体化する過程を理解する。
- ・デザイン発想 2（立体：紙）
想像的に作り出した紙の立体物から発想を得て、イメージを具体化する
過程を演習し、ファッション画によって表現する。
- ・モードデッサン
モード写真を基に写實的にデッサンする技術を習得する。
- ・デザイン発想 3（平面構成：ミックス）
シルエット、ディテールとアイテムの形態について理解し、固定概念に
とらわれないイメージの具体化を学ぶ。
- ・デザイン発想 4（テーマ 自然）
テーマに沿ったリサーチを基にマップを製作し、そこからデザイン出しの
作業を経てデザイン画に表現する過程を理解し、実践的に取り組む。
- ・C F C ポートフォリオ
テーマから各自リサーチを行いイメージマップを製作。
その後、各グループでポートフォリオ製作する。

C F C 教科別シラバス

教科名：卒業研究

ファッション産業学科 3 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説

オリジナルブランドを立案し、その企画から商品 MD、商品製作、販促、販売までを実際に体験し、結果をまとめて反省と分析、最終プレゼンテーションをすることによってファッションビジネスをマネジメントすることを体感習得し起業を考えさせる。

評価基準

出席率、授業態度、研究内容、最終プレゼンテーション等により総合的に評価する。

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・ブランドイメージ
- ・ターゲットイメージ
- ・市場調査
- ・4 か月分のマーチャンダイジング
- ・ショップデザイン
- ・商品製作
- ・ショップ図案
- ・ショップ模型製作
- ・販促物の製作
- ・パワーポイント特別授業

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断Ⅰ ファッション産業学科 1 年 105 時間/週 3 時間

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

立体裁断は、よいパターンを作ることが究極の目的である。

正しく布目を読み取る視覚の重要性を認識させた上で、一枚の布を適切に扱って基本のシルエットを表現出来るようにする。

評価基準

- ・ 基礎的な部分（ピンの打ち方、地の目線の直し方、トワルの扱い方）が習得出来ているか。
 - ・ 適切な方法で決められたシルエットになっているか。
 - ・ 出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

使用テキスト

『立体裁断 基礎編』 文化ファッション大系 文化服装学院編

『プリント』 立体裁断研究書「パターンメイキングの原理」大野順之助著

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ 立体裁断について
- ・ ボディ、ピンの打ち方、地の目直しの説明
- ・ ストレートスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ Aラインスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ フレアースカート（ドレーピング）

——後期——

- ・ 身頃原型（タイトシルエット、ドレーピング、ドラフティング）
- ・ 身頃原型利用してダーツ移動、タック、ギャザーに展開
- ・ オーバーブラウス（ドレーピング、ドラフティング） 衿つけ
- ・ 学年末試験として、オーバーブラウスを規定時間内に組み上げる。

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断Ⅱ ファッション産業学科 2 年 105 時間/週 3 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 1 年の題材を基礎とし、各種アイテム、及びディテールを立体裁断にて表現し、ファーストパターンを作成する。
<u>評価基準</u> ・デザイン画に対し適正なシルエットに組み立てられているか。 ・地の目、ピン打ちが的確に扱われているか。 ・出席日数、授業態度、定期試験 以上を総合的に評価する。
<u>参考文献</u> 『立体裁断 基礎編』 『デザイン画』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編 『パターンメイキングの原理』 大野順之助著 『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』 モードエモード社
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・タックインブラウス（フラットカラー） ・オーバーブラウス（パターンメイキング 3 級より 2 型） ・デザインワンピース ・ブラウス又はワンピース（前期単位認定試験） ・プリンセスラインの原型 ・ボックスシルエットのジャケット ・ショールカラーのプリンセスラインのジャケット ・テーラードカラーのジャケット（パネルライン・2 枚袖） ・ヨーク切替えのタックスカート又はボックスプリーツ ・オリジナルデザインワンピース ・学年末単位認定試験

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断Ⅲ	ファッション産業学科 3 年	105 時間/週 3 時間
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 1～2 年の題材を基盤とし、各種アイテム、ディテールを既製品サンプルを参考にアパレルメーカーのパタンナーとしての技術、表現方法をファーストパターンまで指導する。		
<u>評価基準</u> ・デザイン画やサンプルに対しシルエット、ディテール、ゆるみを的確にとらえ表現できているか。 ・地の目、ピンの扱いが適正であるか。 ・出席日数、授業態度、定期試験 以上を総合的に評価する。		
<u>参考文献</u> 『立体裁断 基礎編』文化ファッション大系 文化服装学院編 『パターンメイキングの原理』大野順之助著 『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』モードエモード社		
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・デザインスカート（ex. ハイウエスト切り替えのフレアースカート） ・ジャケット（PM2 級参考デザインより 1 型） ・デザインワンピース（ex. ドレープ、ウエスト切替タック） ・コレクションより 1 型 ・オリジナルデザイン（ワンピース、スーツ以上） ・学年末単位認定試験		

C F C 教科別シラバス

教科名：流通経済 I

ファッション産業学科 2 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

C F C で 2 年間継続する株価為替表の意味を理解し、
日々の授業や生活に経済学的視点を持つ習慣を身につけさせる。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

- ・『図解 池上彰の経済「超」入門』 毎日新聞社
- ・株価為替表
- ・新聞、ニュースなどの媒体から適宜引用、プリント物で配布

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・物、人、資金の三要素からなる経済学
- ・株価とは 企業とは 景気とは インフレとデフレ
- ・為替とは 円高と円安
- ・税金の仕組み 消費税他
- ・トピックス 2019 年度上期のビックニュースと解説
- ・ファッション業界 2019 年度上期のビックニュースと解説

C F C 教科別シラバス

教科名：流通経済 I

ファッション産業学科 3 年 35 時間/週 1 時間

授業の解説

1 年生でチェックした株価や為替、流通経済で講義を受けた経済トピックスなどを踏まえ、改めて流通経済の基礎を学ぶ。

2 年生で継続する株価為替表を利用しつつ、時々ビックニュースを交え経済学の視点から商品の動きや企業の将来性を予測したり、自身の企業貢献や働き方について意見を持てることを目指します。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

- ・『大学 4 年間の経済学が 10 時間でざっと学べる』 (株)KADOKAWA
- ・新聞、ニュースなどの媒体から適宜引用、プリント物で配布

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・物、人、資金の三要素からなる経済学
- ・ミクロ経済学
 - 価格と需要と供給
 - 消費者の行動
 - 企業の行動
- ・マクロ経済学
 - GDP とは
 - 政府の役割、財政政策
 - 日銀の役割 金融政策
 - インフレとデフレ
- ・国内、海外のビックニュースとその影響